

JOYAMA NEWS

vol. **44**

2019 Spring

Joyama 通信
福岡教育大学広報誌

University of Teacher Education Fukuoka
Campus Magazine

特集

教員採用試験 合格状況



国立大学法人
福岡教育大学

特集

教員採用試験 合格状況

本号の特集では、平成30年度実施の本学の教員採用試験合格状況、学生の教員採用試験合格に向けた本学の取組とともに、実際に教員採用試験に合格した学生の声を紹介します。

本年度も、多くの学生のみなさんが「教員になるという夢」を実現しました。本学の組織的な取り組みと学生のみなさん一人ひとりの努力が成果として実を結んだモノと考えています。その中において、キャリア支援センターの取り組みも重要な役割を果たしてきたと自負しています。キャリア支援センターでは、「就職支援アドバイザー」を中心に教員採用試験の1次・2次試験対策を中心にした特別講座、先輩と出会うことのできる教職イベントなど、1年を通し、学生の学びをサポートしています。在学生のみなさん、この環境をフルに活用して、どうぞ、次はみなさんが夢をつかんでください。

来年度からは、新カリキュラムの学生のみなさんへのサポートの真価が問われることとなります。教員採用に関わる環境の変化も視野に入れながら、キャリア支援センターも進化する必要があります。そのための一歩として、本年度、キャリア支援センターでは、学生STAFFの活動をスタートさせ、企画・広報（イベントの企画、プロモーションビデオの作成など）に取り組んでいます。来年度は、情報交換の場「キャリアナビ」に力を入れ、学びの輪を広げていきます。学生の声から生まれる活動に、是非ご期待ください。

キャリア支援センター長 生田 淳一

CONTENTS

vol.

44

02 特集

教員採用試験合格状況

10 教員紹介

&学生から見た先生の魅力について

11 福教大NEWS

16 サークル紹介

バスケットボール愛好会

手芸サークルEmbellir

17 第21回 福教大卒OB&OG紹介

宗像市立自由ヶ丘小学校

中山 秀輝さん

18 TOPICS

平成30年度福岡教育大学

いじめ防止研修会を開催しました

表紙モデルの福教大生

福岡教育大学基金のご案内

19 キャンパスからの便り



教員採用試験合格状況

平成30年度実施公立学校教員採用試験の合格者の状況は以下のとおりです。

今年の大きな変更点として昨年度まで、他地域と別日程で実施していた福岡市の1次試験が、本年度は九州・沖縄地区と同じになり併願ができなくなりました。よって併願受験者が減少し、複数合格者が減ったため最終合格者数の合計は大幅に減少しています。しかし、全体的な合格率は上昇しています。〔表1、表2〕

〔表1〕平成28～30年度実施公立学校教員採用試験の校種別合格状況

(平成31年1月31日現在)

実施年度	小学校				中学校				高等学校				特別支援学校				合計				
	志願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	志願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	志願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	志願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	志願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	合格実人数
30	292	231	183	62.7	184	113	54	29.3	102	46	22	21.6	63	50	36	57.1	641	440	295	46.0	284
29	483	391	286	59.2	310	169	105	33.9	96	22	10	10.4	68	55	33	48.5	957	637	434	45.4	300
28	455	335	232	51.0	238	138	80	33.6	87	26	18	20.7	69	53	37	53.6	849	552	367	43.2	283

(注1) 志願者数: 併願を含む (注2) 最終合格者数: 複数合格を含む

〔表2〕自治体別公立学校教員採用試験合格者 内訳

(平成31年1月31日現在)

	九州・沖縄												小計 (九州・沖縄)
	福岡県	福岡市	北九州市	佐賀県	長崎県	熊本県	熊本市	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		
H30実施	146	34	38	9	6	4	0	6	3	3	0	249	
H29実施	182	143	20	6	3	4	2	1	7	1	1	370	
H28実施	159	72	32	4	7	3	1	6	0	3	2	289	

	山口県	広島県・市	岡山県・市	鳥取県	島根県	愛媛県	香川県	兵庫県	三重県	他	合計(全国)
H30実施	8	12	1	0	3	1	0	1	0	20	295
H29実施	11	10	3	0	0	1	4	1	2	32	434
H28実施	14	10	2	1	2	2	0	3	2	42	367

※延べ人数

「先生になりたい」 本気を全力で応援しています



特別講座の様子

キャリア支援センターは、学生のやる気を全力でサポートする集団です。学生が「先生になりたい」と心が震えた瞬間を大切に、面接や討論で力を発揮できるように個々人の相談に応じ、特別講座の中では現場で役立つ教育的課題をしっかりと考えていきます。

教員採用試験特別講座

2年生特別講座

「受験校種」と「受験地決定」

教員採用試験(略して教採)なんてまだまだ先のことと思いませんか。英語資格や複数免許を持っていると、自治体によっては一部試験免除や加点制度があります。大学推薦制度もあるので早めの情報収集が合格へ向けての第一歩です。

私は、この特別講座で4年生との交流やアドバイザーの先生の助言などをとおして、教採ノートの作り方や勉強の仕方などたくさんの情報を得ることができており、教採へのモチベーションが高まりました。一緒に頑張る仲間がもっと増えてほしいと思います。



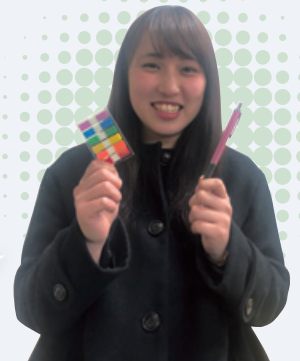
初等教育教員養成課程2年
おおた きみこ
大田貴美子さん

3年生特別講座

「1次試験突破」と「2次試験の知識」

1次試験(筆記試験)突破に向けて、知識をつけていきます。1次試験突破だけではなく、知識は集団討論や面接でも必ず役立ちます。根気よく集中して傾向を把握することが合格へのカギとなります。

教採の情報や資料がもらえます。がんばっている仲間を見てやる気があります。



特別支援教育教員養成課程3年
初等教育部知的障害児教育専攻
あおき ちか
青木知佳さん

4年生特別講座

「人物重視」

教育委員会の採用担当者が、教員採用試験説明会で口を揃えて「人物重視」と強調しています。3年生のうちに筆記試験の勉強は終え、4年生では2次試験対策を重点的にを行います。個人面接や集団面接・討論、模擬授業では、人間力、授業力や専門性が問われるため、自分を知ることや繰り返しの練習が必要です。

私は福岡県ではなく、地元の宮崎県の小学校を受けました。福岡県の教採とは少し形式が異なりましたが、同じ教育委員会を受ける仲間が少なかったのがキャリア支援センターの集団討論などに参加してたくさんの方の意見を聞くことが出来ました。宮崎県の形に合わせた練習と並行してキャリア支援センターの講座に参加することで、特別講座を有効に活用することができたと思います。自分の志願するところの形ばかりにこだわらず、少し形が変わっても違う人の意見を聞くことができ、本番でそれらを活かした自分の意見を述べるので、可能ならば多くの特別講座に参加してほしいと思います。

初等教育教員養成課程
数学選修4年
たか ひら たい しょう
高平泰朗さん
(宮崎県・小学校 合格)



集団討論



集団面接

Message from アドバイザー

問われる「人間性、授業力や専門性」を培うためには、正規の授業はもちろん、サークル活動、ボランティア活動、アルバイトにもしっかり取り組むなど、多くの体験が大事です。その上でそれまでに培った皆さんの個性を「磨き、輝く」ものにし、「合格」の喜びを得るためにアドバイザー一同懸命に取り組めます。特別講座を受講し、いっしょにがんばりましょう。

〔参考〕4年生の教員採用試験のための特別講座受講状況と教員採用試験合格率

(平成30年11月1日現在)

受講回数	出願者数	1次合格者数	1次合格率	最終合格者数	最終合格率①	最終合格率②
0回	85	39	45.9%	16	41.0%	18.8%
1～10回	183	125	68.3%	86	68.8%	47.0%
11～20回	132	113	85.6%	76	67.3%	57.6%
21回以上	62	61	98.4%	54	88.5%	87.1%
	462	338	73.2%	232	68.6%	50.2%

※最終合格率①は、1次合格者数を分母とした場合の割合 ※最終合格率②は、出願者数を分母とした場合の割合

キャリア支援
センター主催

必ず役立つ講座とユニーク活動

～特別講座だけじゃない! 誰でも参加できる!～

メイクアップ講座・マナー講座

この講座、一般企業志望者のためにあると思いませんか?

どのシーンでも活用できる第一印象を良くするための実践講座です。メイクアップ講座では、顔をパッと華やかにするワンポイントアドバイスが人気。マナー講座では、実践練習前後のウォーキングで姿勢の変化を実感できます。



メイクアップ講座

内定者ディスカッション

教員、公務員、一般企業に内定した先輩の話が聞ける!

自分が志望する進路へ道を決めた先輩方の、笑顔あり涙ありの独自の対策や就活の進め方を聞くことができる講座です。今後の自分自身の行動の参考にもなり、先輩方の活き活きとした表情にモチベーションも上がります。



キャリアナビ

キャリアナビ「〇〇県」

福岡県外を受験する学生の声から生まれた、情報交換の「場」!

福岡県外を受験し合格した先輩方の話を聞く事ができます。郷土愛に満ちた先輩方との話を通して、情報交換を行います。12月に「山口県」「佐賀県」を開催し、大好評でした。開催して欲しい受験地のリクエストを受け付けます。「学籍番号・氏名・希望する受験地」を記載して下記までメールください。

(Email : csc-jimu@fukuoka-edu.ac.jp)

おすすめ

10分映像で学ぶ『教師のスキル』DVD

福教大オリジナル

あなたの「知りたい」「聞きたい」に応える教採に特化したDVDがあるのをご存じですか。特に「Ⅲ 教員採用試験編」は、予約待ちがでるほどの人気です。福教大生であれば誰でも借りることができるので、興味のある学生は早めにキャリア支援センターまで。

- I 学習指導編 板書や発問のポイントなど
- II 学級経営編 学級開きでのポイントなど
- III 教員採用試験編 模擬授業、個人面接攻略法など
- IV 体育実技編 マット・鉄棒・バスケットボールなど

私は2次試験に向けて、まず何をしたらいいかわからない時、このDVDを見て自分なりのイメージや雰囲気を掴むことができました。また自治体ごとの模擬授業の映像もあり、とても参考になりました!

Message from アドバイザー

授業や学級経営の力は、教採突破のためにも、教師になってからも大切な力です。その力をつけるのは、「見ること」と「すること(やってみること)」です!



初等教育教員養成課程
生活・総合選修4年
すやま あいり
須山愛梨さん
(北九州市・小学校 合格)

おすすめ

2 教採模擬試験

模擬試験の活用は、教採合格に向けての大事な取組の1つです。

【参考】教採合格者の模試の活用方法

- 3年生 秋 勉強していなくても雰囲気を感じるため「スタート模試」を受講
- 3年生 2月 少し勉強したので実力を試してみる
- 4年生 4月 直前の実力を知る

特典 ▶「スタート模試」は無料(3年生秋)
▶後援会から補助金支援あり(2月、4月)

Message from アドバイザー

採用試験問題の出題傾向を分析して、問題が作られていますので、本番試験のときに「受けていてよかった!」と思いますよ。

教員採用試験合格者 メッセージ



福岡県教員採用試験
小学校 合格

初等教育教員養成課程社会科選修 4年

みぞ ぐち あや

溝口 紋さん

(福岡県立福岡高等学校出身)



ルームのみんなと!

福教大での学びについて

私は、教員採用試験に無事に合格することができました。今、改めて福教大での学びについて私なりに振り返ってみます。

ボランティア活動について

私は、地元の小学校で週に1度、学習支援ボランティアに参加していました。実際に小学校に通い、子どもたちと関わったことで、自分が教壇に立つときのイメージを膨らませることが出来ました。特に、現場の先生方の子どもたちへの声掛けや、指導の方法を観察することを大切に、そこから学んだことを、次のボランティアの際に必ず実践することを心掛けました。それを繰り返していくと、子どもとの関わり方の幅が広がっていききました。その中で、その子どもの実態に合わせた支援をすることの大切さを実感することができました。ボランティア活動は、教育実習で気づいた自分の課題に取り組む場となりました。そして、教員採用試験対策に行き詰った際にも、元気いっぱいの子どもたちと関わったことで、教員になりたいという気持ちを再確認し、それが勉強に励む原動力となりました。

教員採用試験対策について

周りの人のサポートがあったおかげで、私は教員採用試験に合格することができたと、確信しています。試験勉強に行き詰った時は、いつもキャリア支援センターを活用していました。先生方に勉強の仕方を教えてもらったり、そこで友人と集まって勉強したりすることで、たくさんの情報を得ることが出来ました。自分一人の力では、膨大な過去問や資料等の収集や分析はできなかったと思います。先生方のアドバイスをいただき、友人と分担して取り組んだことは、とても効率的で役に立ちました。また、自分と同じように試験に不安を抱く学生が近くで頑張っている姿を見て、「自分も頑張らないと」と気持ちを奮い立たせることができました。

私が特に力を入れたのは、実技試験の対策です。福岡県は1次試験に集団討論、2次試験では模擬授業や面接があります。実技試験は練習を頑張れば、頑張るほど上達します。そこで私は、キャリア支援センターの2次試験対策講座に加えて、福岡県を受ける人たちの自主グループにも入れてもらい、積極的にいろんな人たちと関わって対策してきました。多くの人たちと実技試験対策を行ったことで、これまでにない視点や考え方を学ぶことができ、少しずつ、自分の意見を主張したり、模擬授業を行うことに自信がもてるようになりました。そのおかげで、本番では緊張せずに臨むことが出来ました。友人たちにはとても感謝しています。このように様々な人たちの支えがあったからこそ、最後まで頑張れたのだと実感しています。同じ夢をもつ

仲間たちと高めあっていくことが大切なのだと、身をもって学ぶことが出来ました。

教員として働くことへの意気込みについて

私は、今年の春から教壇に立ちます。子どもたちとの新しい出会いに胸を膨らませるとともに、子どもたちの成長に関われることを嬉しく思います。正直に言って、教員として働くことに多くの不安もあります。しかし、大学の授業や教育実習を通して学んだことをこれからの教員生活に最大限生かし、子どもに寄り添い、成長を支えられることのできる教員になりたいです。大学生活の中で、たくさんのことを学び、素敵な人たちと出会い、思い出を作れたことは私にとって財産となりました。この経験を胸に、子どもたちと共に成長していくことが出来るよう、日々努力していきます。



サークルのみんなと学祭で!



初等社会のみんなと!



北九州市教員採用試験
中学校音楽 合格

中等教育教員養成課程音楽専攻 4年

もり みつ けい と
森光 啓斗さん
(私立東筑紫学園高等学校出身)



中等音楽のメンバーと

福教大での学びについて

私は福岡教育大学に入学して教師になりたいという夢を叶えることができました。大学生活を振り返ると日々の勉強に教育実習、学習支援ボランティアや音楽活動など、とても充実した4年間を過ごすことができたとします。

教育実習について

私の大学生活の中の一番の思い出は教育実習です。実習に臨むまで不安な気持ちでしたが、生徒に温かく迎えられ、すぐに不安な気持ちはなくなりました。

中学3年生の音楽の授業で、全く歌わず、プリントも書かず、授業に参加していない男子生徒がいました。どのようにすればもっと学習意欲が湧くような授業ができるか、その生徒にどのようにアプローチすればいいか日々試行錯誤していました。私は、その生徒と授業以外でも積極的にコミュニケーションをとり、趣味の話や学校の話などたくさん話すことを心がけました。するとその生徒は次第に、授業に参加する姿勢を見せてくるようになりました。そのとき私は、生徒一人一人と向き合うことの大切さ、日々の授業準備、そして何事にも諦めず、一生懸命取り組むことの大切さを学ぶことができました。その翌年、その生徒は、私が行った高校実習の高校に入学しており、「森光先生!」と声をかけてくれたときはとても嬉しかったし、教師のやりがいを実習生ながら感じました。

教員採用試験対策について

私は勉強が苦手で、大学3年生の冬に受けた初めての全国模試では、北九州市の志願者の中で最下位でした。それから、私自身、過去最高に頑張ったと思えるほど勉強して採用試験に通ることができましたが、そこまで努力できたのは、大学の先生方や、一緒に採用試験に臨む友人の支えがあったからです。はじめは、勉強の仕方も分かり

ませんでしたが、大学の先生方からのアドバイスをもらったり、たくさんの対策講座に出席したりしました。また、教員採用試験を受ける友人に様々な勉強法を学び、自分に合った勉強スタイルを見つけるとともに、一緒に勉強することで、成績を上げることができました。一人で抱え込むのではなく、積極的にいろんな人と関わり、それぞれの人の良いところを自分に取り入れていくことが大切だと思います。

教員として働くことへの意気込みについて

私は、教員として「子ども一人一人と向き合い、その子の苦手をなくし、良さや可能性を広げる」ことが大切だと考えています。ただ単に勉強を教えるだけではなく、生活面や心の面など様々な見方から子どもの成長を支えることのできる教員になりたいです。これまでの授業や教育実習で学んだことを生かしていきたいと思います。日々の教材研究や授業研究など、様々なことを先輩教員にアドバイスをもらいながら、これからも学び続けていきたいです。また、私にとっては長い教員人生のなかのまだ1年目ですが、子どもたちにとってはかけがえのない1年です。初めてだからと思うのではなく、全力で、より良いものになるよう何事にも取り組んでいきたいです。



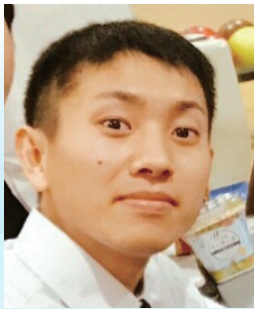
中学校実習



オーケストラ演奏会



小学校での演奏



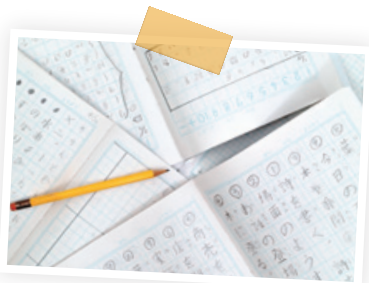
福岡市教員採用試験
小学校 合格

初等教育教員養成課程国語選修 4年
おお うち そら

大内 空さん

(福岡県立城南高等学校出身)

私は効率を重視して勉強をすすめました。勉強を始めるのが遅かったので、周りとの差がついた状態でのスタートでした。自分は初め、キャリア支援センターの先生や周りの友達、先輩など色々な人にやるべきことやおすすめの勉強法など、とにかく聞いてまわりました。また勉強するときは携帯や音楽プレイヤーは家に置き、短くても集中して取り組みました。効率良く進めることを重視して勉強をすれば短い時間でも充分力をつけることはできると思います。ですが、大切なのは話を聞ける友達や先輩、キャリア支援センターの方々との信頼関係だと思います。本当にありがとうございます！



大分県教員採用試験
小学校 合格

初等教育教員養成課程家庭選修 4年
やま だ あかね

山田 茜さん

(大分県立大分上野丘高等学校出身)

私は今年、大分県の教員採用試験を受験しました。その受験のなかでやってよかったことを2つ紹介します。

1つ目は、2次の模擬授業の対策に早くから取り組むことです。授業をすることになれていないため模擬授業自体が本当に難しく感じていました。しかし仲間や先生などたくさんの人に自分の授業を見てもらうことで授業をすることに抵抗がなくなり自信にもつなげることができました。

2つ目は、一緒に勉強する仲間を見つけることです。教員採用試験ではその自治体の傾向や、試験内容など情報収集がとても大切になります。私は、学校のキャリア支援センターだけでなく先輩や自治体の教育庁など様々なところから得られる情報を共有して効率よく対策を立て、みんなで取り組むことで自分のモチベーションにもつながり、辛いばかりではなく前向きに取り組むことができました。

不安なことも多いと思いますが、合格に向けて頑張ってください!!



佐賀県教員採用試験
小学校 合格

初等教育教員養成課程生活・総合選修 4年
い と う

伊藤 みなみさん

(佐賀県立唐津東高等学校出身)

入学当初に抱いていた教職に対する漠然とした思いが、教育実習やボランティア活動を通して確かなものになりました。実際に教育現場で体験したこと、先生方や子どもたちとの出会い、大学での様々な学びを通して私の理想とする教育観を築くことができました。

教員採用試験に臨むうえで一番大切なことは、教師として働くイメージを持っておくことだと思います。どんな教師になりたいのか、どんな学級にしたいのか、どんな授業を行うのか、具体的に思い浮かべながら試験対策を行いました。私は小学校での学習支援ボランティアに参加していましたが、大学の講義だけでは学ぶことのできない貴重な経験を積みました。自分で見たこと、感じたことを通して、教育に対する様々な見方・考え方を持つことができました。みなさんも積極的にボランティアに参加してみてください。

福岡教育大学には、教師を目指すたくさんの仲間がいます。受験する自治体や校種が違って、同じ夢を抱く同志です。仲間と共に協力して採用試験を突破してください。夢に向かって頑張るあなたを応援しています！



鹿児島県教員採用試験
小学校 合格

初等教育教員養成課程教育心理学選修 4年
お ば ら み く

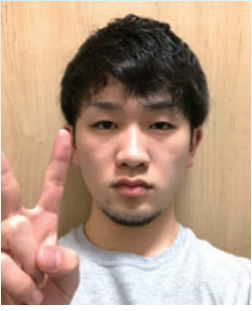
尾原 実久さん

(鹿児島県立川内高等学校出身)

私は、鹿児島県の教員採用試験を受験しました。私が合格することができた理由として、受験地に合わせた対策と、キャリア支援センターの2次試験対策があげられます。

まず、受験地に合わせた対策ですが、3年生の教育実習が終わったころから、主に一人で過去問分析を行い、終わり次第、とにかく参考書の知識を多く詰め込むことに専念しました。キャリア支援センターの2次対策については、面接や集団討論が苦手だったので、練習になるべく参加するように心がけました。同じ鹿児島県を受験する友だちができたのはとても心強かったです。

採用試験対策は長く時間がかかることに加え、副実習や、卒論と同時進行しなければならず大変でしたが、同じように頑張っている友だちと話したり、息抜きをしたり、時々家族に会ってみたりと、マイペースに頑張ることが大切だと感じました。



山口県教員採用試験
中学校保健体育 合格

初等教育教員養成課程保健体育選修 4年
かつ たに たく ひろ

勝谷 拓広さん

(山口県立西京高等学校出身)

私が合格できた一番の理由は、友達の手助けです。県は違いましたが、同じ中学校保健体育を受ける友達と、3月の終わりから毎日のように一緒に勉強をしました。教員採用試験における情報を共有するために、また、励まし合うために、友達と勉強することはとても大切だと感じました。

合格できた理由は他にもあります。それは、積極性です。積極的にキャリア支援センターの先生方に相談をしに行ったり、保健体育の先生方にアドバイスを頂いたりしました。試験当日には、集団討論と模擬授業の際に、空き時間に同じグループの人に積極的に話しかけて、どのような流れで話を進めるかを事前に話し合うことができました。周りの知り合いには少し引かれましたが、この積極性が大切だったと感じます。

皆さんも友達を大切に、気持ち悪いくらい積極的に頑張ってください。



広島市教員採用試験
中学校理科 合格

環境教育課程環境教育コース 4年
むか い たか ひろ

向井 隆浩さん

(広島県立廿日市高等学校出身)

私は、教員採用試験の2次試験において大切だと思ったことについて話します。それは、自分自身の思いや考えを整理することだと思います。「なぜ、教師になりたいのか」「なぜ、その自治体を受験したいのか」「生徒にどういったことを身に付けさせたいのか」といったことに対して教師志望の方は各々思いがあると思います。私は、その思いや考えを整理することで改めて自分が教師になる上での様々な思いや考えを自覚し、2次試験における面接練習がとても意味のあるものになりました。整理の仕方としては色々あると思いますが、自分の場合は、よく聞かれることに対して自分の考えや思いを紙に300字程度で書き留めていました。最後に教員採用試験を受験する皆さんには、自分は教師になりたいんだという強い思いを持って、試験の壁を乗り越えてほしいと思います。



福岡市教員採用試験
特別支援学校中学部英語 合格

特別支援教育教員養成課程
言語障害児教育専攻 4年

よこ やま み か

横山 美果さん

(福岡県立久留米高等学校出身)

私が教員採用試験に合格できたのは周囲の人の協力を得た2次試験の対策にあると思います。模擬授業と面接は学生支援課のボランティアの先生方に何度も見て頂き、アドバイスを受けました。キャリア支援センターの講座でも他の人の授業を見てどんどん参考にしました。教科が違って参考になる部分は多いのでたくさん見てみると客観的に自分の授業を振り返ることができると思います。

同じ自治体を受ける友人とお互いの授業を見て一緒に改善策を考えたり励ましあったりできたからこそ最後まで頑張れました。不安な時は周りの人を頼ってみて、頑張ってください。応援しています。



神奈川県教員採用試験
高等学校地理歴史 合格

中等教育教員養成課程社会科専攻 4年
いけ だ だい ち

池田 大地さん

(長崎県立清峰高等学校出身)

教員採用試験を通して大切だと実感したことを紹介します。それは、様々なことに挑戦すること、それらを楽しみながら実行することの2つです。教員は、人を惹きつける魅力を発揮することが重要な職業です。私はこの2つのことを繰り返す他に、魅力を高めることは出来ないと思っています。

試験に出てくる知識を問う問題の勉強は、集中的にやれば達成できる難しくはない課題です。しかし本質的に求められている力は「知識と経験に裏打ちされた人間的な魅力」だと思うのです。これは短期間では身に付きません。試験に直接関わるわけではない多様な経験が、結果として合格を近づけると感じました。

教員になるという目標に向かって、ひたむきに、誠実に努力を積み重ねてください。

教員紹介 & 学生から見た先生の魅力について

教職教育院
すが ぬま けい すけ
助教 菅沼 敬介

出身地:愛知県
最終学歴:愛知教育大学大学院
修士課程
取得学位:修士(教育学)
本学着任:2016年



子供と共に活動や体験をし、成長し続ける教師に

専門の研究テーマについて

小学校低学年の生活科及び小学校中学年以降、中学校での総合的な学習の時間、高等学校の総合的な探究の時間の研究をしています。中でも中心として研究しているのが生活科です。小学校低学年期の教育は、幼児教育と共に子供の学びの骨格を創る上でとても大切な時期であります。具体的な活動や体験を通し、人・社会・自然に対する直接的な働きかけが、子供の学習意欲や自己の肯定的な態度にどのように影響しているのか、実際の小学校現場の子供の姿や授業実践から研究しています。

大学教員に進むことになったきっかけについて

私は、小さい頃から学校の先生になることが夢でした。ですので、大学院修了後は、愛知県の小学校と中学校で併せて8年間教師として勤めさせて頂きました。8年間は、普通学級の担任をしながら、特別支援教育や不登校、家庭に処々の事情を抱えた児童生徒の対応等、様々な経験をさせて頂きました。児童生徒と共に問題や困難を乗り越え、学年修業時には各々の成長を感じ泣き合えたことは、他に変わることでできない貴重な経験でした。そんな経験を様々させて頂いたからこそ、教職を目指す若者に教師という仕事の魅力や楽しさ、責任感ややりがい、困難を乗り越えた先にあるものを伝達できればと思い、教員養成大学の教員を目指すきっかけになりました。

研究成果の教育への還元について

私の研究は教科教育ですので、その研究成果は、教師を目指す大学生への教育にそのまま還元されると考えています。また、最近では小学校の研究発表会や校内研修会に学生も一緒に参加しています。直接児童生徒の実態をつかみながら授業実践や授業の協議をし、より実践的な授業の為の研究をおこなっております。

こだわりの物・考え・モットーについて

8年間の教員生活で、子供と共に創り上げて来た思い出が大切な宝物です。長期休みには6年前に担任した子供たちに会いましたが、各々の成長した姿を感じられるのも、当時の思い出が鮮明によみがえってこそだと実感致しました。

また、生活科・総合的な学習の時間の教育研究である以上、直接体験や実際の活動を大切にしたいと考えております。学生と共に、荒地を開墾したり、季節の実りを感じたり、地域の人々と触れ合ったり等、実際の経験を積み、将来目の前の子供と共に活動や体験に取り組める教員の育成を目指して学生と接しています。



校内研修会(北九州市の小学校)の様子

福岡教育大学で学ぶ学生に一言

大学生の4年間でしかできないことを沢山経験しましょう。教師を目指す皆さんにとって、福岡教育大学で学修する4年間は、学校教育における生活科の様な位置づけです。具体的な活動や体験を通して学んだことのすべてが将来の原体験となり、素地となっていきます。子供と同じ目線に立ち、子供を的確に見取ることができる教師となれるように、しっかりとした根を育てていきましょう。



菅沼助教(後列左から2番目)と菅沼ルーム所属の学生達

学生から見た先生の魅力について

ふるさわ たくや いけもと ひろむ いたう あみ もりすずか
古澤 拓哉さん、池本 宙夢さん、伊東 歩未さん、森 涼花さん(初等教育教員養成課程 3年)

私たちのルーム担任菅沼先生は一言で言うとお兄さんのような存在です。学生を温かく見守り気にかけてくれます。また、自分の考え方が変わるような言葉やこれから生きていく上で大切にしていきたいと思える言葉を狙わずにサラッとってくれるような先生でもあります。このような先生が担当だからこそ、ルームはアットホームな雰囲気楽しく、私たちは研究にも没頭できます。



大学での授業の様子

平成30年度大学開放推進事業 「教育大へ行ってみよう!」を開催しました

平成30年10月28日(日)に、学内にて大学開放推進事業「教育大へ行ってみよう!」を開催しました。

この事業は、小・中学校の休業日に大学を開放し、「科学」「ものづくり」や「音楽」など、様々なテーマをもとにした実験や実習を間近



“学食”って美味しい!

で見る、または実際に体験することで、子どもたちに「科学の不思議さ」「作り上げていくことの達成感」「音楽の楽しさ」などを味わってもらうことを目的として、平成11年度から実施しています。

九州旅客鉄道株式会社(JR九州)やトヨタ自動車九州株式会社、コスモ・バイオ株式会社公開講座応援団、そして子どもゆめ基金助成活動、宗像市の協力・協賛のもと、科学実験・体験、ものづくり・音楽体験企画として19のコースを実施し、子どもとその家族合わせて約1,400名の参加がありました。

当日は天候にも恵まれ、各会場では、大学生や教職員の実演や説明を熱心に見聞きし、科学やものづくり等の楽しさに触れるたび、身乗り出しながら目を輝かせる子どもたちであ

ふれていました。また、大学の食堂・売店では、一休みしながら、子どもたちは“学食”を食べるという体験をしたり、図書館で絵本を読んだり普段は体験できないような大学カルチャーに触れていただきました。

そして、保護者の皆様も、各企画の趣旨や意図を掴もうと真剣に耳を傾ける姿、子どもの頃に戻ったようにものづくりに触れる熱心な姿が印象的でした。

今回は、子ども向け感想コーナーとして、「みんなで感想の木を紅葉させよう!」という新企画を実施し、沢山の嬉しい言葉をいただきました。

—感想抜粋—

お子様 「楽しかった!また来たい!お兄さんお姉さんが優しく接してくれた!将来の夢が教師なので、この大学に来たい!」

保護者様「とても楽しく1日すごせた」「子供の好奇心が触発される良いイベントでした」

「学生さん達がとても親切で子供の声かけとかも自然で気持ち良かった」

「長男が大学受験で志望校にいられていますので、学校に興味をもち次男と参加いたしました!」

「大学生が一生懸命応対していて、大学を身近に感じられ、大変良い催しものだと思う」

多数のご来場ありがとうございました。来年もまた皆様の笑顔や「なぜ?!」に出会えるよう、スタッフ一同楽しみに準備を進めて参ります。



お姉さんたちと一緒にコロコロ〜!アイスを作りました



世界に一つだけのマイ箸を作りました



幼稚園で作ったおもちゃで決めポーズ



しゅっぱつしんこ〜う!!
鉄道模型やジオラマを作って、運転手さんになったよ。



ペタペタペタペタ...みんなで作った“感想の木”



ボ、ボクの指揮ってすごい?!“音”って“楽”しいね!

第53回福教大祭を開催

平成30年11月17日(土)～18日(日)の日程で大学祭である「福教大祭」を開催しました。

今年度の大学祭も、福教大祭実行委員の学生たちが中心となり、小学生以下の子どもを対象としたイベントをはじめ、老若男女すべての方に楽しんでいただけるように様々なイベントを用意し、大盛況の2日間となりました。

ご来場いただいた皆様、どうもありがとうございました。

福教大祭実行委員長からのコメント

第53回福教大祭で実行委員長を務めさせていただきました、中等教育教員養成課程英語専攻1年の前田慶成です。福教大祭に関わってくださった全ての方々のおかげで、今年度も福教大祭を成功させることができました。皆様のご支援・ご協力、本当にありがとうございました。

21名で構成された私たち学祭STAFFは、全学祭参加団体さんをはじめとした、多くの方々との協力しながら、約半年という期間をかけて福教大祭2日間のために準備を進めてきました。学祭当日では、ステージ上での素晴らしいパフォーマンスや、テント・教室での多くの企画、そして、それらを楽しむ来場者の方々の素敵な笑顔を見ると、この日のために今まで努力してきたと心から思うことができました。この伝統ある福教大祭に実行委員長として関わることができたこと、20名の仲間と共に学祭STAFFとして活動できたことをとても誇りに思います。

第53回福教大祭が今後の福教大祭への大きな一歩となり、さらなる発展を遂げることができるように我々学祭STAFF一同、精進して参りますので、来年度以降の福教大祭でもご協力のほど、よろしく願いいたします。

第53回福教大祭実行委員長

まえだ けいせい

前田 慶成

(中等教育教員養成課程英語専攻1年)



学祭実行委員のみんな



書道パフォーマンス



お笑い企画



模擬店の様子



美味しいチーズドッグはいかがですか〜？



後夜祭での記憶に残るレーザーショー

平成30年度学生ボランティア活動報告会を開催

平成30年11月9日(金)、「平成30年度第4回福岡教育大学学生ボランティア活動報告会」を開催しました。ボランティア活動を行う学生を多く受け入れていただいている近隣地区(宗像市、福津市、福岡市、岡垣町、水巻町)の教育委員会関係者の方々、ならびに宗像地区、遠賀郡の各地区小中学校長会の会長の方々、宗像地区内(11ヶ所)のコミュニティ・センターの会長・事務局長、学内からは学生と大学役員・教職員、後援会会長、同窓会(城山会)会長及び事務局職員等、合わせて約220名の参加がありました。

はじめに、学生ボランティア活動認定学生の表彰式を行い、「リーダー認定者」の1名、「チーフ認定者」の16名及び「サポーター認定者」の54名が、櫻井学長から表彰されました。

次に、坂田ボランティアコーディネーターから学生ボランティア活動の重点的な取組と展望について説明があり、鞍手町の小学校での学習支援ボランティア、東北震災教育支援ボランティア、サークルで近隣地域の子供たちを対象に様々な体験活動を行うボランティア、福岡地区内にあるアンビシャス広場の企画立案や活動支援を行うボランティア活動への参加

等、様々なボランティア活動経験者5名による実践報告が行われ、活動経験者からは、ボランティア活動を通して、子供たちとの接し方への気づきや学びを得られ、自分自身の成長を感じたことや、保護者や地域の方々と連携することの重要性を感じたこと、また、ボランティア活動の経験を通して、教員になりたい気持ちがより高まったこと等、意欲的な発表が行われました。



活動実践報告の様子



熱心に聞き入る参加者

防災教育に関する研修会を開催

将来、学校現場で教壇をとる学生は、災害の現実を理解し、被災の状況に遭遇した場合であっても、児童・生徒の安全確保のため、また、学校の事業継続のために冷静に対応することが強く求められます。

平成30年12月7日(金)、宮城教育大学教職大学院/防災教育未来づくり総合研究センター准教授の小田隆史氏を講師としてお招きし、『学校の防災・減災と教員養成—東日本大震災の教訓に学ぶ—』と題して研修会を開催しました。

小田氏からは、東日本大震災における学校の被害の状況とともに、被災後の各学校の対

応、被害時の学校の法的な責任などの事例を交えながら、日頃から学校防災への備えの重要性であること、また、多くの学生が災害や防災に関する知識を学ぶために、教員として勤務する際に必要な防災に関する資格や人材研修、安全教育ポータルサイトの紹介などもあり、被災地域の経験を踏まえた貴重なお話をいただきました。

講演会には、学生を中心に教員、事務職員を含めて185名が参加しました。講演後のアンケートの結果、「実際に講師の方の家が被災された写真を見て、いつ自分の家が被災するか分からないと防災に対する意識が変わっ

た」「災害が起きた時、学校、教員が大きな役割を果たすことが分かった。深い学びになってよかった。」「学校の災害時の存在の大切さ、教師の児童の命を預かる責任の大きさなどを感じた」「教員として働こうと思っているので、正しい知識を身につけ、子どもたちに正しいことを教育しないといけないと思った。」など、今回の研修会を通じて、学校現場の防災の重要性と災害時の心構えを新たにしたいとの声が多数聞かれました。

本学では、今後とも教員養成の拠点大学として、災害時の行動意識の向上に繋げるため、防災教育を推進して参ります。



講演をする小田氏



講演会場内の様子

5 大学改革等シンポジウム「教員育成指標に対応するために教員養成大学はいかにあるべきか」を開催

平成29年4月に「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」等が施行され、学校教育関係職員の資質の向上を図るため、公立の小学校等の校長及び教員の任命権者に校長及び教員としての資質の向上に関する指標及びそれを踏まえた教員研修計画の策定を義務付けることが明記されました。

この教員育成指標に対応するため、教員養成大学としての本学は、教育行政機関や学校現場と連携・協力しつつ、どのように関わっていくべきなのか・何ができるのかを教員養成の在り方と現職教員研修の体系化における関わり方の両面から協議・考察するため、一般社団法人国立大学協会との共催と福岡県教育委

員会の後援を得て、平成31年1月16日(水)に標記シンポジウムを開催しました。

当日は、本学の教職員や学生、教育行政関係者、大学、学校等の関係者約90名の参加で下記の内容で行われました。

シンポジウムの講演者等

開会挨拶／福岡教育大学長 **櫻井 孝俊**

基調講演／文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課長 **柳澤 好治氏**

行政説明／福岡県教育庁 教育振興部 義務教育課 主幹指導主事 **秋永 晃生氏**

状況説明／福岡県久山町立久原小学校長 **重松 宏明氏** 福岡教育大学教育学部長 **飯田 慎司**

パネルディスカッション／司会 福岡教育大学副学長(教育研究高度化担当) **清水 紀宏**

本シンポジウムに参加いただいた方へのアンケートの結果では、回答いただいたほぼ全員の方から「教員育成指標を見据えた新たな学校教育、教員養成・研修の展開に向けて、今後取り組むべきものや現在の課題等を考える機会になったか」との質問に対して「機会となった」との回答がありました。また、①「国が

教員養成大学に求めていることがよく分かった」、②「今後、教員養成大学は教員育成指標を意識し学生を教育するとともに、教育委員会のニーズを把握し現職教員の研修にも貢献していかなければならないと感じた」、③「国、県、学校、大学という多方面の状況が分かり有意義だった」等の感想をいただいております。本シン

ポジウムの開催の目的を達成できたものと考えられます。

本学では、今後とも地域の教育関係者の方々と連携・協働を進めることにより、学校現場で優れた指導の実践ができる教員を輩出していく所存ですので、引き続き、ご支援くださるようお願いいたします。



開会挨拶を行う櫻井学長



パネルディスカッションの様子

6 柔道部男子学生が全日本視覚障害者柔道大会男子66kg級で初優勝

本学柔道部の瀬戸勇次郎さん(特別支援教育教員養成課程中等教育部1年生)は、平成30年12月23日(日)に講道館で開催された『第33回全日本視覚障害者柔道大会 男子66kg級』に出場し、初優勝を果たしました。

本大会への出場が2回目となる瀬戸さんは、予選リーグを1位で通過し、準決勝戦では、2016年(平成28年)リオデジャネイロパラリンピック男子60kg級で銀メダルを獲得した広瀬誠選手と対戦し、豪快な裏投げで一本勝ちを収めました。また、決勝戦では、パラリンピック3

連覇の藤本聡選手から小外刈りで技有りを奪い、そのまま横四方固めで勝利を収めました。

瀬戸さんは、平成31年3月開催の『東京国際視覚障害者柔道選手権大会』と5月開催の『IBSA Judo Grand Prix』の日本代表候補となっており、「今回の試合で優勝できたことはとても嬉しく、大きな自信になりました。また、これまで課題としていた視覚障害者柔道の戦い方についても自身の成長を感じることができました。3月の国際大会に向けて、今後も稽古に励んでいきたいです。」と抱負を述べました。



試合の様子(左:瀬戸さん)

平成30年度福岡教育大学学生表彰式を行いました

平成31年2月18日(月)、本学第一会議室において、平成30年度福岡教育大学学生表彰式を行いました。

本表彰は、研究、課外及び社会活動等において、特に顕著な成果や功績を収めた本学学生及び学生団体を表彰するもので、今年度は11名の学生と1つの学生団体が表彰の対象となりました。

表彰式では、本学後援会会長、役職員及び指導教員・顧問教員が見守る中、櫻井学長から対象学生及び学生団体の代表者に、表彰状と副賞が贈呈されました。櫻井学長から、「皆様のご活躍には、皆さん自身の並々ならぬ努力があったと思いますが、ご家族や指導していただいた先生方の支えを含め、活動できる環境が整っていたからこそ成果を収めることができたと思います。これからも周囲の方々への感謝を忘れずに、頑張ってください。本日は、誠におめでとうございます。」との激励の言葉と祝辞が述べられるとともに、本学後援会会長からもお祝いの言葉をいただきました。

また、学生代表として、柔道部所属・特別支

援教育教員養成課程中等教育部1年の瀬戸勇次郎さんから「それぞれの活動での成果は、大学の環境及び周囲の方々の後押しによるものです。今後、自らの能力を高められるように

研鑽に努め、さらなる飛躍を期したいと思いません。また、後援会よりいただいた副賞は今後の課外活動、研究活動のために使います。」との感謝の言葉と抱負が述べられました。



学生表彰受賞者と学長(中央右)、後援会会長(中央左)及び関係者

「平成30年度福岡教育大学優秀教育実習生賞」表彰式を行いました

平成31年2月18日(月)に「平成30年度福岡教育大学優秀教育実習生賞」表彰式を行いました。

この賞は、「実習生としての教育的愛情、使命感の自覚、授業や学級運営等における教育方法の創意工夫、そして同僚と協同しながら切磋琢磨してきた数々の努力と工夫に敬意を払い、その功績を称える」ことを目的として創設され、本年度は11名の学生が受賞いたしました。

表彰式では、櫻井学長から、受賞した学生一人一人に表彰状及び後援会からの記念品が贈呈された後、「質の高い教員養成という理念を掲げる本学にとって、皆さんの頑張りは、実に頼もしい限りであり、今回の表彰を機に、教育への熱い思いを醸成し、友人や後輩たちにもよい刺激を与えていただきたい。そして仲間とのネットワークを築き、今後とも活躍してください。」と激励がありました。

その後、学生の代表から、「この賞を受賞できたのは、附属学校や公立学校の先生方をはじめとし、教壇に立つ準備を支えてくださった大学の先生方や様々なアドバイスをくださった先輩方、共に実習を乗り越えた仲間、そして実習先の子どもの存在があったおかげであると感謝の気持ちが述べられ

ました。また、「実習中は、不安がたくさんあったが、この実習を経て、先生方の子どもの思う気持ちや子ども達の笑顔から自信と勇気をもらい、教師になりたいと思う気持ちが強くなりました。この貴重な経験に感謝し、今後も目標に向けて努力し続けたいと思います。」と力強い謝辞がありました。

表彰式終了後は、学長、理事をはじめご来賓の瀬口福岡教育大学後援会会長、各附属学校・幼稚園および公立小学校から出席いただいた校長・園長、担任および指導教員等と写真撮影を行いました。



優秀教育実習生賞受賞者と学長(中央)、後援会会長(学長の左)及び関係者

バスケットボール愛好会

私たち『バスケットボール愛好会』は、男女計63名が所属しているサークルです。週に2回、近隣中学校の体育館を借りて、バスケットボール経験者、未経験者問わず、楽しく活動しています。また、社会人バスケットボールの大会や近隣大学のバスケットボールサークルの大会など、年に数回地域で行われる大会に参加しています。

その他に、春と夏の旅行をはじめ、1年生大会の前に行う1年生合宿やチームに分かれて優勝を競う体育館レク(写真:左)など、年間を通して様々なイベントを行っており、学年や男女の垣根を越えて楽しく過ごしています。



初等教育教員養成課程 3年

伊東 歩未

先日行われた愛好会の大会では、参加した女子チームがめでたく決勝トーナメントへの切符を手に入れましたが、私たち『バスケットボール愛好会』のイベントと日程が被ってしまったため、棄権し、他チームに出場のチャンスを譲りました。そのように、時にはイベントを楽しむ自由さがあり、バスケットボールを一生懸命やるときはやるサークルです。

これからもみんなが笑顔で楽しく活動できるような場になればいいなと思っています。



サークル紹介

C I R C L E I N F O R M A T I O N



手芸サークル Embellir

私たち『Embellir(アンベリール)』は、日常で使うイヤリングやクリスマスなどのイベントに合わせた小物などを楽しく制作しています。現在は、月に1回程度活動しています。

Embellir(アンベリール)は、フランス語で“美しくする”という意味を持っています。制作活動を通して、「心もより美しくなるように」という願いを込めて、このサークル名となっています。



初等教育教員養成課程 2年

小幡 萌寧

現在、部員は少しずつ増えており、30名程度が所属しています。来年は、今よりも数多くの作品づくりができればいいなと考えています。これからも、より美しくなるよう、楽しみながら制作活動を行っていきたいと思います。応援よろしくお願ひします!





1年目初任者研修体育(マット運動)

心に決めていること

私はこの仕事を始めてから4年目になりますが、これだけは毎日やり遂げると心に決めていることがあります。それは、クラス全員と話し、全員を笑顔にさせることです。子供達全員に学校は楽しい所だと思ってもらいたいからです。そのために、授業はもちろんのこと、子供と接する時間は休み時間であっても常に全力で向き合います。担任と子供の関係が深まれば、自ずと子供同士の関係もよくなります。クラス全員と話し、全員を笑顔にさせる、これから『熱意』をもって毎日やり遂げていきたいと思ひます。

硬式野球部で学んだこと

私は大学の4年間、硬式野球部に所属していました。野球の技術に加え、先輩・後輩とのつながり、チーム全員の方向性を揃える大切さなど、様々なことを学ぶことができました。教員になって「学校は野球と似ている」と感じることがあります。それは、学校はチームであるということです。悩み事があつたら先輩の先生に聞いたり、後輩の先生が困っていたら一緒に悩んだりするなど、謙虚に学び真摯に伝える姿勢がとても大切です。また、子供の学力や体力を高めるには、職員の考えを揃えることなど、大学野球を通じて『誠意』を学んだことが教師になつてもとても役立っています。



宗像市研究発表会ふるさと学習(釣川大改修工事)

教師を志す学生の皆さんへ

大学生の皆さん、周りを見渡せば自分と同じ志をもつた仲間がたくさんいます。その仲間は、様々な困難や苦しいことに直面しても、共に考えぬき、工夫し、努力する『創意』する力を育てていく良き友です。上記で述べた『熱意・誠意・創意』の3つの精神を仲間と共に育み、社会へと飛び立って行ってください。それでは、いつかどこかで、一緒に働けることを楽しみにしています。



大学の卒業式後



2年目教室訪問算数(面積)

宗像市立自由ヶ丘小学校
なかやま しゅう き
教諭 中山 秀輝 さん

初等教育教員養成課程
保健体育選修
平成27年3月卒業



平成30年度福岡教育大学 いじめ防止研修会を開催しました

平成31年3月2日(土)、福岡教育大学アカデミックホールにおいて平成30年度福岡教育大学いじめ防止研修会を開催しました。

本研修会では、日本生徒指導学会会長・鳴門教育大学特任教授の森田洋司先生より、「いじめ防止対策の在り方を改めて考える～総務省の勧告を受けて～」について、大変貴重なご講演をいただきました。

引き続き大坪靖直教授より、「いじめ根絶を目指すアクションプログラム」における本学の取組についての事業報告、附属福岡中学校の姫島和久教諭、西村紀彦教諭、久永美穂教諭より、現行の教科で扱ういじめ予防に資する一連の授業案、「いじめを生まない授業づくり」について実践発表を行いました。

最後に大坪教授と附属福岡中学校の姫島教諭、西村教諭、久永教諭の質疑応答では、「いじめを生まない授業づくりについて」フロアを巻き込んだ議論がなされました。

この研修会では、BPプロジェクト関係者、福岡県内、福岡県外教育関係者、他大学学生、本学教職員、本学院生及び本学学生など138名が参加し、大変有意義な研修会となりました。

本日いただいた意見を参考にして、今後もBPプロジェクト※を継続して参ります。



平成30年度福岡教育大学いじめ防止研修会の様子

※我が国のいじめ問題の根本的な克服に寄与するため、平成27年度に宮城、上越、鳴門、福岡の4教育大学の協働参加でスタートした「いじめ防止支援プロジェクト(BPプロジェクト(Bullying Prevention:いじめ防止))」は、関係機関等の協力を得て、教育委員会研修担当者及び学校教員等を対象に講演や研修会、シンポジウムなどを行っています。

表紙モデルの福教大生

今号の表紙は、『第33回全日本視覚障害者柔道大会 男子66kg級』に出場し、見事初優勝を果たし、平成30年度福岡教育大学学生表彰に選ばれ、先日学長より表彰を受けた瀬戸勇次郎さんと瀬戸さんが所属している福岡教育大学柔道部の皆さんにご登場いただきました。

視覚特別支援学校の教員を目指す瀬戸さんは、勉学に励む傍ら稽古を続け、「強い相手でも必ず勝てるチャンスがあることが柔道の魅力。無理だと思ふことでも、まずはチャレンジしてみるとの大切さを柔道から学びました。現在の目標は、2020年開催予定の東京パラリンピックに出場し、メダルを目指すこと。また将来は、教員を目指すとともに指導者として視覚障害者柔道の普及に携わりたい。」と力強く夢を語ってくれました。



福岡教育大学基金のご案内

福岡教育大学では、教育研究の更なる発展や充実を図ることを目的として、「福岡教育大学基金」を設けております。つきましては、広く教育界、産業界、地域の皆様方に、本基金への格別のご理解とご支援を末永く賜りたく、お願いを申し上げます。

公式ホームページ

福岡教育大学基金

検索

https://www.fukuoka-edu.ac.jp/about/efforts/foundation/fukkyou_foundation

「福岡教育大学基金」についてのお問い合わせは、福岡教育大学財務企画課までご連絡をお願いします。

お問い合わせ先

福岡教育大学財務企画課 TEL:0940-35-1210 FAX:0940-35-1701 E-mail:kaihosa@fukuoka-edu.ac.jp

Campus Letter

キャンパスからの便り

健康科学センター 健康科学センター の紹介

健康科学センターでは、医師、看護師、カウンセラーによる心身両面での相談を受け付けています。

その他、いろいろな企画をしていますので、ぜひお気軽にお越しください。

健康科学センターHP
<http://ww1.fukuoka-edu.ac.jp/~hokenctr/index.html>



同窓会城山会 会報49号発行

平成31年1月に城山会会報49号を発行いたしました。

会員の皆様には6支部、28支会よりお届けいたします。

学部生と大学院生の皆様には大学のJOYAMA通信と同封にて保護者の皆様宛てお届けいたします。学内学生会館1階にも置いてありますので是非ご覧ください。



福岡教育大学同窓会 城山会事務局
TEL・FAX:0940-33-2211
E-Mail: jouyamakai@able.ocn.ne.jp

後援会 「後援会だより」第78号発行の お知らせ

「後援会だより第78号」を12月に発行し保護者の皆様に送付いたしました。お手元に届きましたでしょうか。今回は教員採用試験・就職活動・教育実習・インターンシップを終えた学生の原稿を中心に、就職支援についてなどを掲載しています。

ご意見ご要望などがございましたら、下記事務局までご連絡ください。

福岡教育大学後援会 事務局
TEL・FAX:0940-33-8070
E-Mail: kouenkai@eos.ocn.ne.jp



福岡教育大学アメリカンフットボール部 挨拶運動

地域の方々に支えられ活動している私たち福岡教育大学アメリカンフットボール部は、少しでも地域に貢献できるよう、平成31年1月7日(月)～2月1日(金)まで、宗像市立赤間小学校で児童の安全を見守る挨拶運動を行いました。

ユニホーム姿で児童と挨拶を交わすことで、アメリカンフットボールの活動を知ってもらうことや、コミュニケーションをとることができ、将来教員を目指す私たちにとっても、非常に有意義なものとなりました。

これからも応援よろしくお願いたします。



国語以外は苦手な子が小説家になるかもしれない。
ノートにらくがきしてばかりの子が画家になるかもしれない。
チョウやバッタにしか興味のない子が100年後の絶滅種を減らすかもしれない。
ケガの多いやんちゃな子が多くの命を救う医者になるかもしれない。
インターネットばかりしている子が平和を創るプログラムを発明するかもしれない。

その可能性を広げる。

教師は、
世界を変える仕事だ。

あすの教育に、夢を。



国立大学法人
福岡教育大学
University of Teacher Education Fukuoka

www.fukuoka-edu.ac.jp

Joyama 通信 vol. **44**

福岡教育大学広報誌第44号 2019年3月27日
編集発行: 国立大学法人 福岡教育大学 経営政策課

〒811-4192 宗像市赤間文教町1-1
TEL.0940-35-1205 FAX.0940-35-1259
e-mail: kouhou@fukuoka-edu.ac.jp
ホームページ: <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>



福岡教育大学
イメージキャラクター
フッキー



携帯電話サイト



Twitter



YouTube

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。